

女性医師の窓

趣味の園芸

いしごき皮ふ科クリニック 石崎 康子

四季の変化を感じられる花と緑に囲まれて仕事をしたい！と建物の内外に花壇や植栽を配置して設計してもらい、6年間可能な限り自力で世話をしています。春にチューリップ、夏はゴーヤとミニキュウリや蔓性の花でグリーンカーテンを作ったり。忙しいとつい手入れを怠りがちで、素人丸出しの若干野性味のある仕上がりになっています。様々な花が咲き揃った時や実がなって収穫できた時はとても嬉しく、失敗は失敗で色々勉強になって面白いです。

今年のカボチャの空中栽培とパパイヤの路地栽培にも挑戦しています。診察室の窓から見えるところに植えたので仕事の合間に観察しては癒されています。どちらも成長が速く、毎日見ている飽きません。パパイヤは北陸あたりでも野菜として食べる青パパイヤで収穫するなら路地栽培が可能で、春に苗がホームセンター等で入手可能です。3ヶ月ほどで1.5~2mほどに育って花や実をつけ、暖地では大きな木になるけれど、寒さに弱く5度以下では枯れるため北陸あたりでは一年草扱いになるそうです。うちのパパイヤは今のところ花が咲いてもちゃんとした実にならず、何か足りないものがあるのでしょうか。実を収穫できるように育てるという来年の目標ができました。



チューリップ

草むしりは成果がすぐ目に見えて達成感が得られるので一番好きな作業です。色々な楽しい発見もあります。

風が運ぶのか、鳥が運ぶのか、花壇の雑草に混じってアスパラ、ニラ、シソなどが毎年出てくるのですが、今年はなんとスイカまでが生えてきました。花壇の中でキラキラ光るヤマトタマムシを拾ったこともありました。法隆寺の玉虫厨子に貼ってあるアレです。吉丁虫とも呼ばれ、幸運をもたらすと言われていています。何かいいことがあるに違いありません。

庭仕事はしんどいことも少なくないですが、それ以上の喜びと癒しを与えてくれます。患者さんたちの笑顔と温かいお褒めの言葉も力になっています。猛暑もようやく一段落し、庭仕事のしやすい時期になりました。チューリップの球根も出回るようになってきたので、そろそろ春に向けての準備を始めたいと思います。春が楽しみです。



パパイヤの花